

2026 年 9 月 7 日

報道機関各位<<お知らせ>>

阪急電鉄株式会社

**阪急電鉄株式会社、フィリピン共和国/マニラ首都圏における
パーク・アンド・ライド型駐輪インフラ構築実証事業が、経済産業省の令和 7 年度補正
グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS 事業）に採択**

阪急電鉄株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：嶋田 泰夫、以下「阪急電鉄」）は、2026 年 6 月 30 日、フィリピン共和国/マニラ首都圏におけるパーク・アンド・ライド型駐輪インフラ構築実証事業が、経済産業省の令和 7 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS 事業）に採択されたことをお知らせします。

この度、採択された事業は、フィリピン共和国における、《マニラ首都圏の鉄道駅周辺に日本発の機械式駐輪システムと現地のキャッシュレス決済を融合させたスマート駐輪場を整備し、「パーク・アンド・ライド」を促進することによる交通渋滞の緩和と大気汚染の低減》を目的としています。

*** 令和 7 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金**

（小規模実証・FS 事業）特設ホームページ

<https://r7h-gs-hojo-web-fspoc.jp/>

本実証事業は、経済産業省の補助を受けて株式会社アーキエムズ（本社：京都市中京区、代表取締役：村田 雅明）と共同で実施します。

阪急電鉄は、2024 年にフィリピン共和国/マニラ首都圏の都市鉄道 LRT 1 号線の運営・保守事業を担う Light Rail Manila Corporation (LRMC) へ出資参画しました。本実証事業では、駅へのアクセス手段の拡充や鉄道利用の促進につながる取組の実証を行います。

パーク・アンド・ライドは交通渋滞や環境負荷の低減に資する取り組みとして期待されています。フィリピンではバイク等が末端交通として広く利用されており、交通渋滞が深刻な社会課題となっています。郊外の駅までバイク等で移動し、鉄道に乗り換えて都心部に向かうことを推進する本実証事業は、現地の交通状況に適した有効な対策の一つであると考えられます。当社は、本実証事業を通じて、フィリピンにおいて社会課題解決への貢献と持続可能な都市交通の実現を目指します。



駐輪場イメージ図

【関連リンク】

経済産業省 令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S 事業）
採択結果公表ページ：

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2026/s260630002.html>

以上